

平成 26 年（1 月～9 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 25 年	平成 26 年	増減（率）
死亡災害（人）	655	704	49（7.5%）
死傷災害（人）	75,293	76,764	1,471（2.0%）
重大災害（件）	136	190	54（39.7%）

イ 先月末との比較

	平成 25 年	平成 26 年	対前年増減率の推移
死亡災害（人）	618	704	7.9% → 7.5%
死傷災害（人）	67,007	76,764	1.8% → 2.0%
重大災害（件）	157	190	40.2% → 39.7%

ウ 近年の同月との比較（9 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
死亡災害（人）	80	82	86
死傷災害（人）	9,482	9,486	9,757
重大災害（件）	18	24	33

（注：10 月 7 日までに入力した速報値である。）

（出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告）

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（262 人）、第三次産業（156 人）、製造業（129 人）、陸上貨物運送事業（79 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」（185人）、「交通事故（道路）」（150人）、「はさまれ・巻き込まれ」（113人）の順で多く発生している。

ウ その他

死亡災害の前年同期の増加率は先月に比べて7.9%から7.5%に鈍化している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、製造業では▲0.9%から▲10.4%に減少し、建設業では18.9%から20.7%に増加し、陸上貨物運送事業では30.8%から38.6%に増加している。

(3) 死傷災害（休業4日以上）

ア 業種別発生状況

第三次産業（32,759人）、製造業（17,979人）、建設業（11,311人）、陸上貨物運送事業（9,340人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」（17,353人）、「墜落・転落」（13,238人）、「はさまれ・巻き込まれ」（10,061人）の順で多く発生している。

ウ その他

死傷災害の前年同期の増加率は先月に比べて1.8%から2.0%に増加している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、第三次産業では1.9%から1.7%に減少し、陸上貨物運送事業では2.0%から1.6%に減少し、製造業では2.4%から3.1%に増加し、建設業では1.7%から1.9%に増加している。

(4) 重大災害（一時に3人以上の死傷者を伴う災害）

ア 業種別発生状況

建設業（68件）、第三次産業を中心としたその他の事業（46件）、製造業（17件）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」（95件）、「中毒・薬傷」（35件）、「その他」（23件）の順で多く発生している。

ウ その他

重大災害の発生件数は、全産業において190件で、前年同期に比べて54件、39.7%増加している。建設業において87件で、前年同期に比べて25件、40.3%増加している。製造業において38件で、前年同期に比べて21件、123.5%増加している。